

### 中西 大輔議員（すずか倶楽部）

全議案に賛成。平成27年度鈴鹿市一般会計予算について、重要計画策定において市内の縦割りではなく、責任世代の職員を中心に全体を俯瞰して計画に取り組むべき。

放課後児童対策施設整備費補助について、子ども・子育て会議で十分な検討もなく予算が計上されたことは問題、情報共有と十分な説明が行われるべき。学校図書館へのパソコン配備について、補正予算などで早急に対応すべき。市は平成27年度において、健全な財政運営に関する条例を定め、将来世代に過度な負担を残すことのない安定した財政運営を確保すべき。平成26年度鈴鹿市一般会計補正予算(第5号)について、人口ビジョン策定について、議会との情報共有と十分な意見交換を行うことを意見する。

## < 請願について > (請願第9号 鈴鹿市議会議員の定数削減を求める請願書)

### 中西 大輔議員（すずか倶楽部）

請願第9号に賛成。すずか倶楽部は一貫して報酬のあり方の見直しと定数削減を訴えており、請願者の意思を尊重し請願に賛成する。ここ数年の市財政は厳しい状況であり、人口減少も影響する。議会はこれを厳粛に受け止め、効率的な議会体制を実現すべき。近隣議会の動きも考慮し、市民の意思を尊重し議論することが求められている。これらは鈴鹿市議会基本条例の第11条第1項と第2項に合致する。定数について住民自治との関連から論理的な根拠が希薄である。小学校区の30から行政区の23の間で削減に取り組むべき。請願者も市議会と議員を否定しているのではなく、期待する気持ちがあることを申し添え請願に賛成する。

### 森川ヤスエ議員（日本共産党）

請願第9号に反対。この請願に反対する理由は議会の役割を考えるからである。成熟した民主主義社会はいかに多様な意見を反映し結論を導き出すかが問われる。議員の定数は多いほど多様な意見が集まり、さらに議会は市政を監視するという機能も大事な役割であり、そのためには集中して議論のできる適正な規模が必要となる。現在そのために鈴鹿市議会は委員会方式と会派制を取り入れ、4常任委員会を各会派の委員で構成するよう努めている。委員会で市政問題について多様な意見を反映した議論を行い、集中審議を行うという観点からも定数が多すぎることはないと考える。これ以上の定数削減は議会の役割である多様な意見の反映や徹底審議を深める機能を弱め、民意の削減につながる。

## 3月定例会議決一覧表

### 全会一致で可決した議案

議案番号	件名
議案第 2号	平成27年度鈴鹿市国民健康保険事業特別会計予算
議案第 3号	平成27年度鈴鹿市土地取得事業特別会計予算
議案第 4号	平成27年度鈴鹿市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算
議案第 5号	平成27年度鈴鹿市介護保険事業特別会計予算
議案第 6号	平成27年度鈴鹿市後期高齢者医療特別会計予算
議案第 7号	平成27年度鈴鹿市水道事業会計予算
議案第 8号	平成27年度鈴鹿市下水道事業会計予算
議案第 9号	鈴鹿市立図書館条例の全部改正について
議案第10号	鈴鹿市情報公開条例及び鈴鹿市個人情報保護条例の一部改正について
議案第11号	鈴鹿市行政手続条例の一部改正について
議案第12号	鈴鹿市委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について
議案第13号	市長及び副市長の給与等に関する条例等の一部改正について
議案第14号	教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部改正について